

2026年度 船員災害防止実施計画(概要)

1. 船員災害の減少目標

- 第11次基本計画期間の年度平均値と比較し、以下のとおり。

死傷災害	死傷災害発生率	全体で▼11% (一般船舶等▼20%、漁船▼6%)
	死亡・行方不明発生人数	全体で▼20%
疾病	疾病発生率	全体で▼9% (一般船舶等▼8%、漁船▼10%)
	メンタルヘルス系疾病の発生人数	全体で▼23%

3. 主要対策

- 第12次基本計画で定めた主要対策及び熱中症予防対策を推進
(新規事項下線)

(1) 死傷災害防止対策	
作業時中心	船内設備・作業方法等再検討、作業基準遵守、墜落制止用器具徹底、係船設備点検保守
海中転落・海難	救命衣着用、基本訓練、生存対策講習会受講、小型旅客船特定教育訓練
漁船	船内設備・作業方法等再検討、ライフジャケット着用の徹底、安全推進員等の養成、作業安全学習教材の活用推進、周知啓発キャンペーンの展開、AIS普及促進、STCW-F条約に基づく基本訓練の実施

4. その他重要事項

安全衛生管理体制	船内労働安全衛生マネジメントシステム、安全衛生教育実施
居住環境	快適な居住環境、作業環境整備改善

2. 重点を置く災害の種類

- 2024年度発生状況から以下のとおり。

死傷災害	転倒、はさまれ、動作の反動・無理な動作、転落・墜落：全体の約63% 海中転落：死亡・行方不明者の36%
疾病	生活習慣病：全体の約33% 熱中症：死亡者発生、昨年度の発生数の約2.67倍

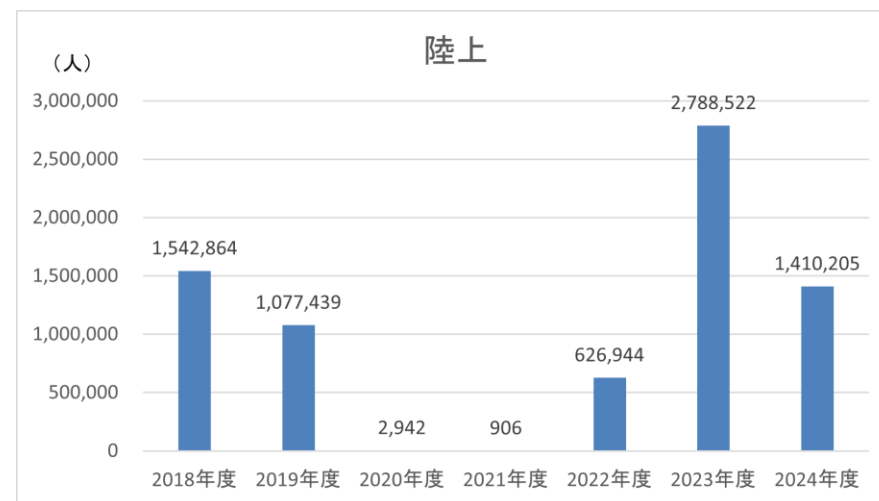
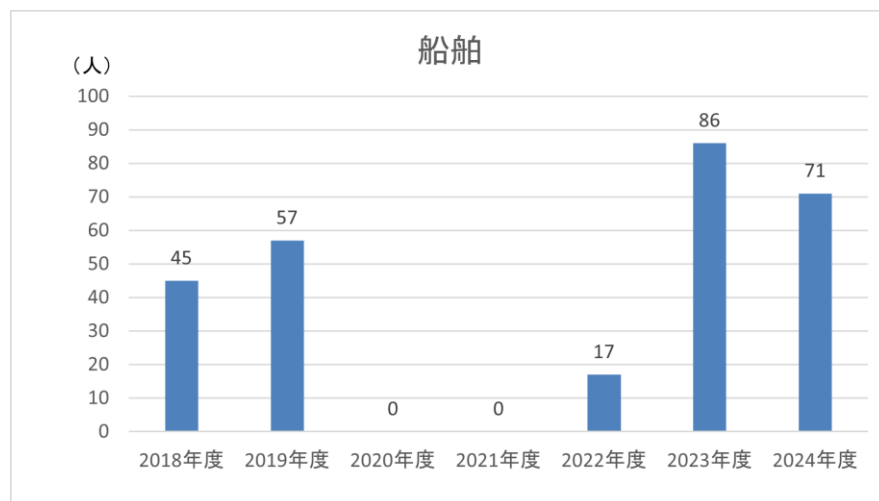
(2) 疾病防止対策

健康確保	健康検査結果活用、食生活改善、長時間労働、全国健康保険協会と連携した健康課題の改善
感染症予防	感染症予防対策
ハラスメント	ハラスメント防止措置、顧客等からのハラスメント検討
メンタルヘルス	ストレスチェック実施、メンタルヘルス講習会、メンタルヘルス相談窓口の普及
熱中症予防対策	作業環境管理、作業管理、健康管理、労働衛生教育

(3) 死傷災害・疾病 防止対策(共通)

高年齢・若年	職場環境改善、健康体力状況把握、安全衛生教育
その他	外国人船員とのコミュニケーションの充実

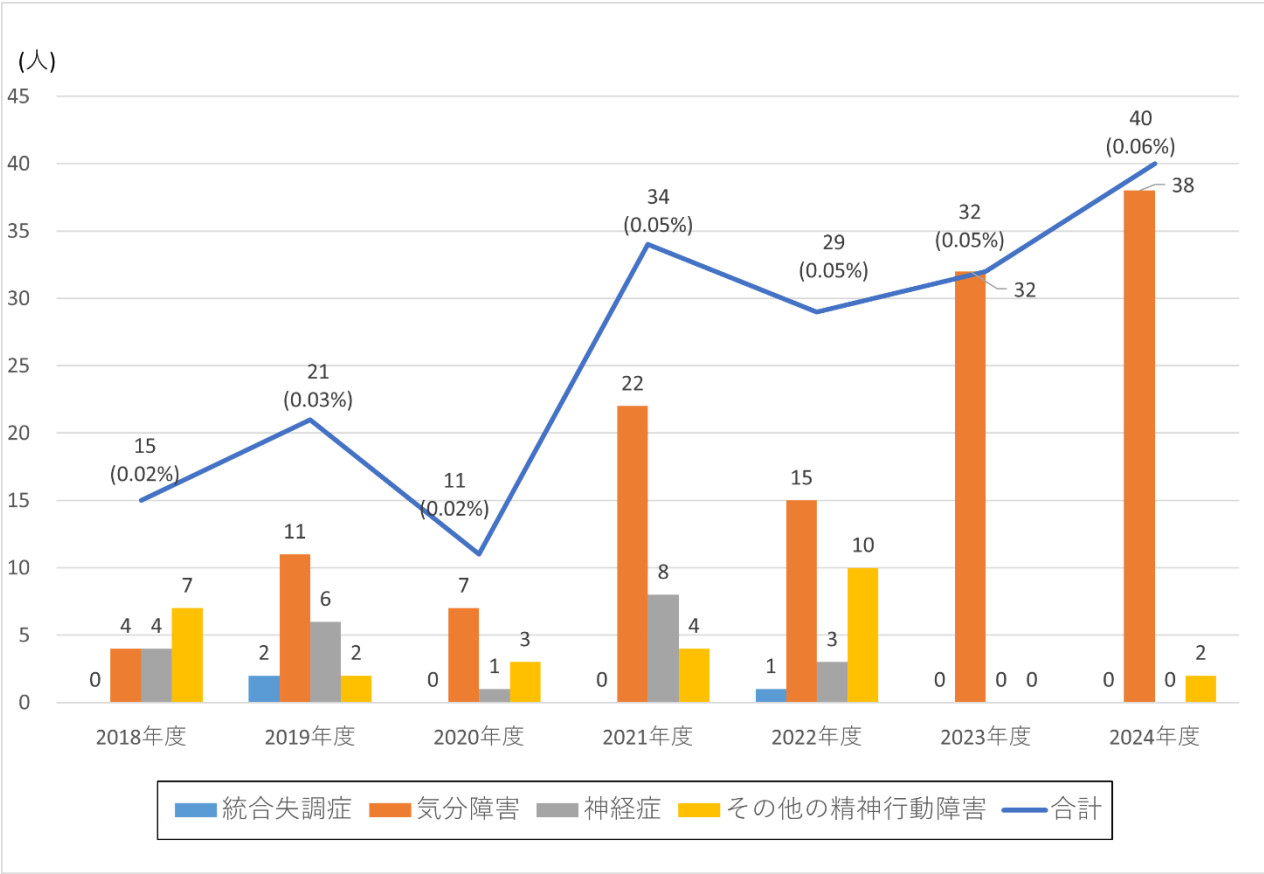
- 疾病（一般船舶等、漁船、全体）については、第11次基本計画年度平均（2018～2022年度）からの悪化がみられる。
- 2024年度のインフルエンザの発生件数が、全体で71人（71/569人）となり、前年度（186/504人）と比べると減少しているものの2022年度と比較すると約4倍に増加したことが影響している。
- 近年の陸上の患者報告者数の推移と比較すると、船員の流行は、陸上におけるインフルエンザの流行に影響を受けていると考えられる。



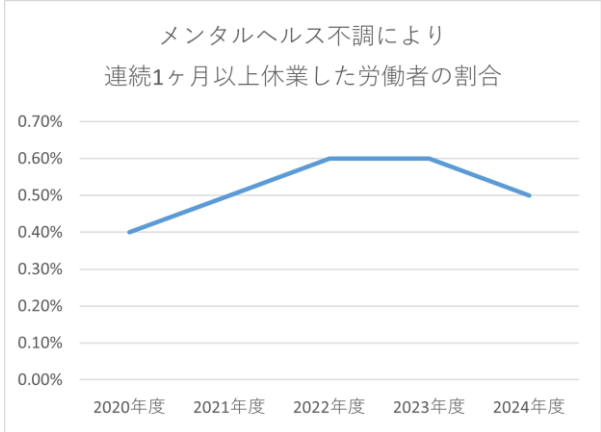
（出典）陸上は、厚生労働省感染症発生動向調査（定点報告）の季節性インフルエンザ患者報告者数から船員政策課において算出
船舶は、「船員災害疾病発生状況報告集計書」から船員政策課において算出

- 疾病（メンタルヘルス系疾病*）については、第11次基本計画年度平均（2018～2022年度）からの悪化がみられる。
- 2024年度のメンタルヘルス系疾病の発生件数は、全体で40人（40/569人）。前年度（32人）と比べ8人増加。
- 近年の推移からは、増加傾向又は減少傾向があるとはいえない。

*メンタルヘルス系疾病：精神行動障害のうち、統合失調症、気分障害、神経症、その他の精神行動障害



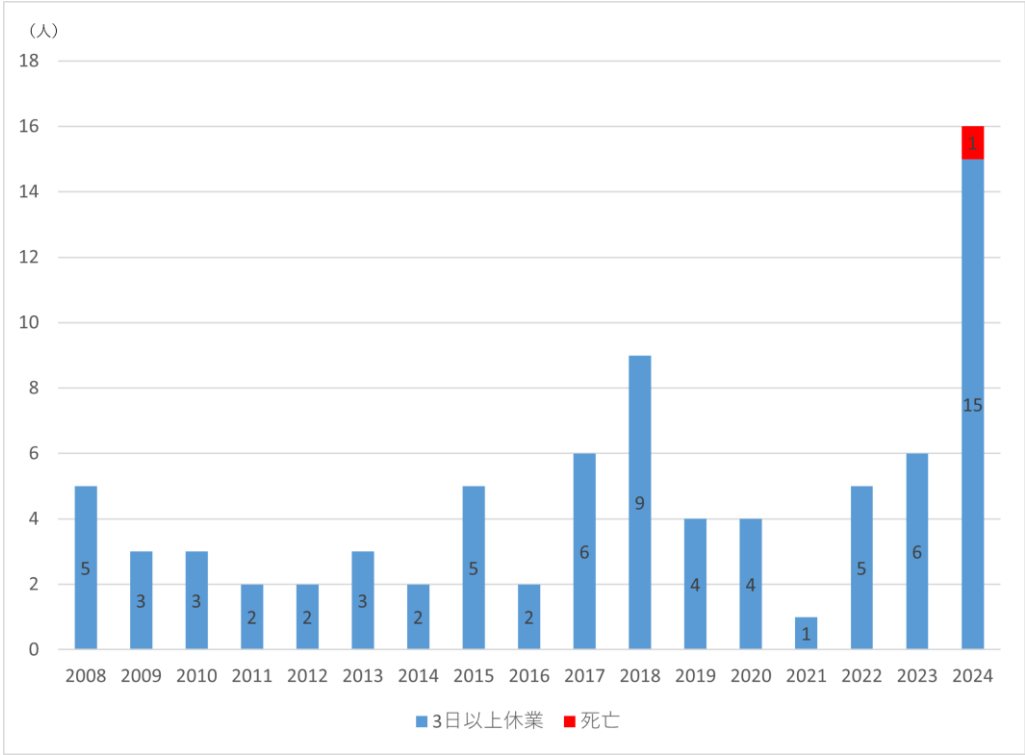
(参考)



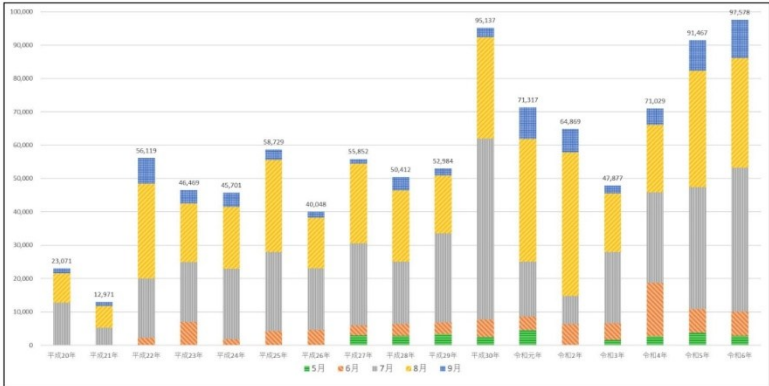
※令和2年度～令和6年度の労働安全衛生調査（実態調査）より船員政策課で作成

- 熱中症の発生件数の推移は、2024年度が16件と2023年度（6人）と比較し、増加している。
- また、2024年度では熱中症による死亡者も発生している。
- 増減については、陸上の緊急搬送状況の推移に類似する点も見られ、気象状況に影響を受けるものと考えられる。

熱中症発生数の推移



熱中症による緊急搬送状況の推移



	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
5月								2,904	2,788	3,401	2,427	4,448	6,336	1,626	2,668	3,655	2,799
6月	調査データなし	2,276	6,980	1,837	4,265	4,634	3,032	3,558	3,481	5,269	4,151	6,336	4,945	15,969	7,235	7,275	
7月	12,747	5,294	17,750	17,963	21,082	23,699	18,407	24,567	18,671	26,702	54,220	16,431	8,388	21,372	27,209	36,549	43,195
8月	8,857	6,495	28,448	17,566	18,573	27,632	15,183	23,925	21,383	17,302	30,410	36,795	43,060	17,579	20,252	34,835	32,806
9月	1,467	1,182	7,645	3,960	4,209	3,133	1,824	1,424	4,012	2,098	2,811	9,532	7,085	2,355	4,931	9,193	11,503
合計	23,071	12,971	56,119	46,469	45,701	58,729	40,048	55,852	50,412	52,984	95,137	71,317	64,869	47,877	71,029	91,467	97,578

(引用元：総務省消防庁報道発表資料
「令和6年（5月～9月）の熱中症による救急搬送状況」)

- 死傷災害のうち、「転倒」「はさまれ」「動作の反動・無理な動作」「転落・墜落」が約63% (2023年度約60%)。
- 死亡・行方不明となった死傷災害のうち、「海中転落」が36% (2023年度約75%)。
- 疾病のうち、生活習慣病に関連するものが全体の約33% (2022年度約30%)。
- 第11次基本計画年度平均 (2018～2022年度) と比べ、感染症の占める割合の増加がみられる。

<死傷災害> ○死傷災害の種別発生状況

	一般船舶	漁 船	その他	合 計	計 割合
転倒	49人	55人	15人	119人	25%
はさまれ	34人	32人	10人	76人	16%
動作の反動無理な動作	27人	16人	10人	53人	11%
転落・墜落	25人	18人	9人	52人	11%
まき込まれ	6人	21人	2人	29人	6%
飛来・落下	4人	21人	2人	27人	6%
切れこすれ	3人	15人	3人	21人	4%
激突	10人	7人	2人	19人	4%
激突され	7人	10人	2人	19人	4%
踏みぬき	6人	6人	1人	13人	3%
海中転落	4人	4人	5人	13人	3%
その他	14人	10人	5人	29人	6%
合計	189人	215人	66人	470人	100%

○死亡・行方不明となった死傷災害の種別

	一般船舶	漁 船	その他	合 計	計 割合
海中転落	1人	2人	2人	5人	36%
その他	2人	0人	0人	2人	14%
激突され	1人	0人	0人	1人	7%
海難	0人	0人	1人	1人	7%
中毒	1人	0人	0人	1人	7%
激突	0人	1人	0人	1人	7%
落下・飛来	0人	1人	0人	1人	7%
火災	0人	1人	0人	1人	7%
不明	0人	1人	0人	1人	7%
合計	5人	6人	3人	14人	100%

<疾病> ○疾病の種別発生状況

	第11次実績平均		2024年度	
	人数	割合	人数	割合
感染症	47人	10%	91人	16%
筋骨格系	79人	16%	91人	16%
循環器系	69人	14%	69人	12%
消化器系	74人	15%	65人	11%
新生物	45人	9%	57人	10%
呼吸器系	36人	7%	47人	8%
精神行動障害	22人	5%	41人	7%
その他	110人	23%	108人	19%
合計	482人	100%	569人	100%

※赤枠は、生活習慣病関連